

『インドネシア ニュースレター』総目次 はじめに

最終号の刊行に当たり、28年間にわたる『インドネシア ニュースレター』の足跡を振り返るため、創刊号(No.1)以来の総目次を掲載することにしました。

『ニュースレター』No.1がA4版パンフレットの体裁で刊行されたのは、JANNIの創立より2年早い1991年初めのことで、当時は横浜にある財団法人・神奈川県国際交流協会が企画し「INLを発行する仲間たち」(INLはIndonesia News Letterの略称)が編集・発行するという体裁がとられていました。この形は1992年11月刊のNo.6まで続きましたが、JANNI発足後の1993年3月刊のNo.7からは編集・発行の主体がJANNIつまり「日本インドネシアNGOネットワーク」に変わり、以後はJANNIの機関誌として毎年3～4回刊行されるようになりました。

その印刷物としての体裁は、折り重ねてパンチで綴じ穴を開けただけのA4版パンフレットという形が2004年3月刊のNo.48まで続きました。ただし、1997年12月刊のNo.25までは薄手の色紙に表紙もモノクロで印刷した地味なものであったのに比べ、1998年3月刊のNo.26からは白地の厚手の用紙に変わり、モノクロながら鮮明な写真を掲げ活字も二色刷の表紙を用いるようになりました。その後、2004年6月刊のNo.49からは製本されたA5版のブックレット(毎年4回刊)に変わり、表紙の写真もカラーで印刷されたものに改善されました。そして2013年8月刊のNo.83からは、一回り大きいB5版ブックレット(毎年3回刊)に変更されて現在に至ります。

以下では、No.1～25、No.26～48、No.49～82、No.83～98の4つの時期に分けて目次をご紹介します。



ニュースレター創刊号

(1991年1月1日刊)

『インドネシア ニュースレター』 総目次 (1)

No. 1 ~ No. 25 A4 版パンフレット 表紙活字モノクロ印刷の時期

【No. 1】 1991 年 1 月 1 日

- インドネシア・ニュースレター (I N L) の発行にあたって p. 1
- インドネシア文化事情・第 1 回
ロック界のスーパースター 小川忠 p. 2
- 草の根から働きかける人々
インドネシアの NGO 活動紹介 (1) 雨森孝悦 p. 4
- Buah Bibir - Buah Mulut (話の種)
インドネシアの雑誌から 潮崎俊平 p. 6
- 日本で出会うインドネシア
インフォメーション・オン・インドネシア p. 8

【No. 2】 1991 年 3 月 26 日

- 国際理解講座 インドネシア 講演の概要
国際理解講座 インドネシア の開催 p. 1
- 第 1 回 インドネシア世界とその変遷 ~熱帯林の消滅~ 大木昌 p. 2
- 第 2 回 空飛ぶマグロ 福家洋介 p. 3
- 第 3 回 インドネシアのエスニック・グループの文学
~スンダ語の文学を中心に~ 森山幹弘 p. 5
- インドネシア文化事情・第 2 回
この空が僕の家だ 小川忠 p. 6
- Buah Bibir - Buah Mulut (話の種)
言論活動をめぐる話題 (続報) 潮崎俊平 p. 8
- NGO の話題
INGI 総会 1992 年春 神奈川で開催へ 雨森孝悦 p. 10

【No. 3】 1991 年 7 月 4 日

- ★ 第 7 回 INGI ワシントン会議報告 高柳彰夫 p. 1
- 国際理解講座 インドネシア 講演の概要
第 4 回 ロンボク ~バリ島の向こう側~ 稲見和己 p. 3
- 第 5 回 東部インドネシア、スンバ社会の結婚と交換 小池誠 p. 4
- 第 6 回 西スマトラ、ミナンカバウのイスラム教徒 山田史子 p. 6

インドネシア・ニュースレター 99 & 100

- 第7回 西ジャワの農村経済 水野広祐 p. 8
- インドネシア文化事情・第3回
インドネシア語の履歴書 小川忠 p. 10
- Buah Bibir - Buah Mulut (話の種) ～インドネシアの雑誌から
第3回 投書欄に見るインドネシアの世相 潮崎俊平 p. 12
- ★ 資料
第7回 INGI ワシントン会議 エイド・メモワール (訳 高柳彰夫) p. 14

【No. 4】 1991年11月15日

- ★ インタビュー
インドネシア・日本2国間NGO開発会議 編集部 p. 1
- ★ 日本のODAとインドネシア 毛利勝彦 p. 4
- ★ インドネシアの人権状況 ～ INGI での議論～ 高柳彰夫 p. 6
- 連載 インドネシア文化の現在
エニ・アロー氏と幸福な家族の現在 北野正徳 p. 8

【No. 5】 1992年2月8日

- ★ 「開発」の転機と草の根の日本・インドネシア関係
～ INGI 神奈川会議に寄せて～ 加納啓良 p. 1
- ★ 日本のODAとインドネシア 第2回 毛利勝彦 p. 5
- ★ 東ティモール問題の現状 松野明久 p. 8
- 連載 インドネシア文化の現在 第2回
淋しいスルタン・アゲン 北野正徳 p. 10

【No. 6】 1992年11月25日 INGI 神奈川会議の特集

- ★ 第8回 INGI 会議－ INGI 神奈川会議－の報告 高柳彰夫 p. 1
- ★ INGI 神奈川会議事務局人間模様 加藤まゆみ p. 4
- ★ 第8回 INGI 会議エイド・メモワール
インドネシアに関する国際NGOフォーラム政策提言 p. 5
- ★ 日本のODAとインドネシア 最終回 毛利勝彦 p. 11

(No. 1～6は、神奈川県国際交流協会が企画し、「INLを発行する仲間たち」が編集・発行。)

(No. 7 からは JANNI が編集し発行)

【No. 7】 1993 年 3 月 25 日

■ NGO 情報	
IGGI の解散、CGI の設置と NGO	高柳彰夫 p. 2
NGO 紹介～インドネシア環境フォーラム	浦野真理子 p. 5
■ 環境問題	
ヤムナデ島 木材伐採のために沈みゆく島	浦野真理子 p. 6
ムリア原発 もっと情報を！もっと議論を！	古沢希代子 p. 9
■ 分析インドネシア	
1992 年総選挙結果をどう読むか	松野明久 p. 10
第 6 次開発内閣の顔ぶれ	編集部 p. 11
■ メディア・ウォッチ	
PKO・石油流出事故・あかつき丸・地震	加納啓良 p. 12
■ 文化・芸術	
レンピー・インドネシア ガドガド	松野明久 p. 15
小説「プリヤイたち」が語るジャワ人の精神史	小川忠 p. 16
■ 人権とインドネシア	
国連人権委、東ティモールに関する決議採択	古沢希代子 p. 18
■ 書評	
『ナクロマ・東ティモール民族独立小史』	高橋宗瑠 p. 19
『アルジュナは愛をもとめる』	桑原晟 p. 19
■ お知らせ	
INGI 神奈川シンポジウム報告書のことなど	
JANNI の発足について	高柳彰夫 p. 20

【No. 8】 1993 年 7 月 15 日

■ NGO 情報	
速報・CGI 開催と日本の対インドネシア ODA	高柳彰夫 p. 2
NGO 紹介～インドネシア法律援護協会	津留歴子 p. 3
NGO 紹介～ジャカルタ・スラムを考える会／	
インドネシア湘南若者交流事業実行委員会	加藤麻由美 p. 3
JANNI 事務局紹介	浦野真理子 p. 4

JANNI が発行元となったニュースレター第7号

VOL. 1 NO. 7/MAR. 25, 1993

インドネシア ニュースレター



編集・発行：日本インドネシアNGOネットワーク（JANNI）
〒150 渋谷区鶯谷6-5恵ビル1F
ニュースレターの問い合わせ先：
（財）神奈川国際交流協会内K1Sコーナー
〒231 横浜市中区山下町2産業貿易センター9F

目次

□NGO情報	PKO・石油流出事故・あかつき丸・地震・・・12	加納啓良
IGGIの解散、CGIの設置とNGO・・・2		
高柳彰夫	□文化・芸術	
NGO紹介-インドネシア環境フォーラム・・・5	レシビー・インドネシア ガダガダ・・・15	松野明久
浦野真理子	小説「ブリヤイたち」が語るジャワ人の精神史・・・16	小川 忠
□環境問題		
ヤムデナ島・木材伐採のために沈みゆく島・・・6	浦野真理子	□人権とインドネシア
ムリア原発 もっと情報を！もっと議論を・・・9	古沢希代子	国連人権委、東チモールに関する決議採択・・・18
		古沢希代子
□分析インドネシア		□書評・・・19
1992年総選挙をどう読むか・・・10	松野明久	『ナクロマ・東チモール民族独立小史』 高橋宗暹
第6次開発内閣の顔ぶれ・・・11	編集部	『アルジュナは愛をもとめる』 桑原 辰
		□お知らせ・・・20
□メディア・ウォッチ	JANNI神奈川シンポジウム報告書のことなど	
	JANNIの発足について	高柳彰夫

■ 環境問題		
だれのための調査？ 世界銀行出資の		
国際森林リサーチセンターをめぐる	浦野真理子	p. 5
■ メディア・ウォッチ		
ゴルフ場建設をめぐる論争	加納啓良	p. 6
■ 文化・芸術		
スマトラに息づくジャワのワヤン文化	畠 薫	p. 8
■ 人権とインドネシア		
人権概念をめぐるインドネシアの動向	古沢希代子	p. 10
■ インフォメーション		
コンテンポラリー・インドネシア・プログラムの案内		p. 11
■ 特集		
従軍慰安婦問題	松野明久	p. 12
■ 書評		p. 14
『アジアの草の根国際交流－PHD 協会の実践』（草地健一著、明石書店）		
『ハッタ回想録』（モハマッド・ハッタ著、大谷正彦訳、めこん）		
■ レシピー・インドネシア 卵のサンバルいため	松野明久	p. 15

【No. 9】 1993 年 10 月 15 日

★ JANNI 発足記念シンポジウム		p. 2
■ NGO・ODA情報		
CGI 続報	高柳彰夫	p. 4
第13回 INFID 合同運営委員会報告	津留歴子	p. 5
NGO紹介～GENI (Yayasan Gemi Nastiti)	津留歴子	p. 7
NGO紹介～アジア・コミュニティトラスト	加藤まゆみ	p. 9
■ 環境問題		
西パプアで伐採とたたかう森の人々	浦野真理子	p. 10
■ メディア・ウォッチ		
インドネシアの児童労働	加納啓良	p. 13
■ 特集 インドネシアと人権		
国連世界人権会議で出会ったインドネシアのNGO	松原明	p. 14
東ティモール 米国の動き始めた市民と政策	古沢希代子	p. 16
労働問題 マルシナの悲劇	古沢希代子	p. 19
■ 分析インドネシア		
国軍オタクへの第一歩	潮崎俊平	p. 20

- レシピ・インドネシア エビのココナッツクリーム煮 松野明久 p. 22
- インフォメーション
熱帯林行動ネットワーク・シンポジウム p. 23
- お知らせ p. 24

【No. 10】 1993 年 12 月 30 日

- 特集 環境問題
森林問題に関するインドネシア関係者との懇談会<前編>
(訳・編集 浦野真理子、山川百合子、岡本幸江、守永有里子、津留歴子) p. 2
- インドネシアと人権
今なお、悲しき熱帯 松野明久 p. 6
マドゥラ島ニパダム建設予定地、
軍隊が住民に発砲、4人が死亡 古沢希代子 p. 9
ヒューマンライツ・ヘッドライン (編集・訳 古沢希代子) p. 11
東ティモールへの旅 ディア・カライ p. 12
- インドネシアNGOのメッセージ・NGO紹介
反ゴルフ場開発グローバル・ネットワークからの呼びかけ (訳 山川百合子) p. 14
バリからの便り (訳・津留歴子) p. 15
ボランティアさん登場～山川るみさん～ 都留歴子 p. 15
INDECO・ASPEK (コーポラティブ住宅協会) 加藤まゆみ p. 17
- ODA情報
ODA大綱の原則をめぐる最近の議論から 高柳彰夫 p. 18
- 分析インドネシア
変貌するインドネシアのエビ養殖業と民衆交易の試み 鈴木隆史 p. 20
国軍オタクへの第2歩 潮崎俊平 p. 24
- メディア・ウォッチ
インドネシア国内ニュースクリップ 都留歴子 p. 25
宝くじ (SDSB) に関する TEMPO 記事 (訳・編集 竹下愛) p. 26
- インドネシアの文化の現在
バリの人はずなぜ芸能や儀式にうちこむのか? 西村昭 p. 29
- レシピ・インドネシア 魚のリチャリチャ風 松野明久 p. 31
- お知らせ p. 32

【No. 11】 1994 年 3 月 15 日

■ 特集 環境問題

森林問題に関するインドネシア関係者との懇談会<後編>

(訳・編集 浦野真理子、山川百合子、岡本幸江、守永有里子、津留歴子) p. 2

原発建設反対でインドネシアから来日

～市民フォーラム 2001 国際シンポジウム～

佐野信太 p. 10

■ メディア・ウォッチ

松野明久 p. 11

■ 現代インドネシアの大衆文化

インドネシア映画の「愉しみ」

松野明久 p. 14

今夜もエルミー姐さんでジャズとボサノバ

北野正徳 p. 16

■ 分析インドネシア

変貌するインドネシアのエビ養殖業と民衆交易の試み (後編)

鈴木隆史 p. 19

★ 読者投稿

ジャングルの川で遊ぶ子供たち

宮下尚之 p. 21

■ インドネシアと人権

ヒューマンライツ・ヘッドライン

(編集・訳 古沢希代子) p. 23

■ お知らせ

JANNI インドネシア連続講座 4月より開講!

p. 28

【No. 12】 1994 年 7 月 20 日

★ INFID 会議に参加して

都留歴子 p. 1

★ 良いガバナンスと地域開発～第9回 INFID 会議から～

高柳彰夫 p. 6

■ インドネシアと環境 特集 ダム開発

クドゥンプリン、巨大開発の後に残されたもの

～クドゥンオンボ・ダムのその後～ エリアキム・シトノス

(訳 岡本幸江) p. 8

問題未解決のまま建設が進むコトパンジャン・ダム

関 学 p. 10

■ インドネシア・ニュースクリップ

都留歴子 p. 12

■ 分析インドネシア

マルク州モルッカ諸島にみる資源管理の慣習と利用

佐藤幸男 p. 13

国軍オタクへの第3歩

潮崎俊平 p. 15

■ お知らせ

p. 16

【No. 13】 1994年9月20日

■ インタビュー特集

- レンドラに聞く「テンポ発禁の衝撃」 都留歴子 p. 2
ジョージ・アディチョンドロ教授が語る
住民移転と補償問題 (訳 田村里香) p. 4

★ 特別レポート

- 東ティモール訪問団随行報告 小野サチ子 p. 7

★ 読者投稿

- 日本占領軍への告発～インドネシア民族独立運動家の声～ 東門容 p. 11

■ NGO情報

- インドネシア政府 大統領令によるNGO統制を検討 高柳彰夫 p. 13

■ ODA情報

- 1994 CGI 会議速報 都留歴子 p. 14

★ INFORMASI インドネシア語のできるあなたに

- YAYASAN GENI からのお知らせ p. 14

★ 特報

- インドネシア法律援護協会 (LBH) 会長ブユン・ナスティオン氏来日 p. 15

★ ジャカルタのスラム改善NGOを訪問して 和賀井稔 p. 17

■ お知らせ

- ブユン・ナスティオン特別講演会 インドネシア独裁政権下の労働運動 p. 19
JANNI インドネシア連続講座のお知らせ p. 20

【No. 14】 1994年9月20日

★ ブユン・ナスティオン特別講演会

- インドネシア独裁政権下の労働運動 (訳 岡本幸江) p. 2

★ 特別レポート

- ジャカルタ APEC1994 都留歴子 p. 8

★ テンポその後

- 「アンフェアなプレスに与するな！」アリフ・ブディマンの呼びかけ
(訳・構成 岡本幸江) p. 13

■ 人権情報

- 東ティモールの近年の人権状況 古沢希代子 p. 16
Human Rights Update p. 18

■ インドネシア 1994		
年間ニュースクリップ		p. 19
ジョージ・アディチョンドロ取り調べ		p. 21
アリフ・ブディマン解雇		p. 22
クドゥンオンボ・ダム訴訟		p. 23
マルシナ事件の新たな展開		p. 23
★ 東インドネシアの旅	杉山純子	p. 24
★ イリアンジャヤ訪問記 1		
天国から地獄へ、トバティ村の開発	鈴木隆史	p. 27
■ お知らせ		
お父さんを探して！		p. 29
JANNI 連続講座のお知らせ		p. 30

【No. 15】 1995 年 3 月 20 日

★ ティミカからの手紙		
～フリーポート社による環境破壊・人権侵害の実態～	編集部	p. 2
★ 特別寄稿		
ジャカルタの出稼ぎ労働者	宮本謙介	p. 6
★ インタビュー		
インドネシアでの生活あれこれ		
～インドネシア人と結婚した日本人女性に聞く～	都留歴子	p. 9
■ 人権情報		
東ティモール 民間人殺害とニンジャ横行	松野明久	p. 14
オーストラリアと東ティモール	ダミアン・カトレット	p. 17
■ メディア・ウォッチ (訳・構成 都留歴子)		
インドネシア・ニュースクリップ		p. 19
ニュース・クローズアップ War on Preman ～都市部のプレマン狩り～		p. 22
「私たちの土地を返して！」		
～パルブルワン村の農民、ジャカルタでロビー活動～		p. 24
★ イリアンジャヤ訪問記 2		
天国から地獄へ、トバティ村の開発	鈴木隆史	p. 26
■ 本の紹介		
『インドネシアの先住民族と人権問題：西パプアに見る民族絶滅政策』		
(カルメル・ブディアルジョ、リム・スイ・リオン著、明石書店)		
	小野寺和彦	p. 28

インドネシア・ニュースレター 99 & 100

『インドネシアのポピュラー・カルチャー』

(松野明久編、めこん、近刊)

北野正徳 p. 29

■ お知らせ 外国人地震情報センター案内など p. 30

【No. 16】1995年6月20日

★ 日本インドネシア NGO ネットワーク (JANNI) 第1回通常総会 編集部 p. 2

★ INFID アドボカシー活動 in Tokyo 都留歴子 p. 7

■ NGO情報

インドネシアーカナダ・フォーラムを調査して 高柳彰夫 p. 9

■ 特別寄稿

エコツーリズム 門田修 p. 12

イワン・ファルス 小島曠太郎 p. 15

★ インタビュー

アスマラ・ナババン氏に聞く～独立50周年を迎えるインドネシア～

聞き手 村井吉敬 (訳・編集 川上園子、ダミアン・カトラー) p. 18

■ メディア・ウォッチ

インドネシア・ニュースクリップ

(抄訳・構成 川上園子、岡本幸江、ダミアン・カトラー、都留歴子) p. 21

ニュース・クローズアップ

スハルト大統領、ドイツ訪問の波紋／

スリ・ビンタンはスケープゴート? p. 27

インドネシアの日系パルプ工場へ OECF が出資 黒田洋一 p. 28

★ イベントのお知らせ p. 29

★ 事務局からのお願い

JANNI の会員になって活動を支えて下さい! p. 30

【No. 17】1995年10月20日

■ 特集 フリーポート問題

詳報 ティミカの悲劇～イリアンジャヤ フリーポート

操業地での人権侵害～ 都留歴子 p. 2

チャーチ・レポートー抄訳 川上園子 p. 9

■ ODA検証

湖の水、川の水はだれのものあ? ～ルヌン水力発電所

建設をめぐる～ 藤林泰 p. 15

★ 戦後補償

私の名前はモモエでした

～インドネシア元従軍慰安婦の来日～

虎松彩乃 p. 17

★ 環境

サシがあるから私たちは生きていける

～マルク州、ハルク村のサシを守るために～

鈴木隆史 p. 19

■ メディア・ウォッチ

抄訳・構成 川上園子・都留歴子

インドネシア・ニュースクリップ

p. 22

ニュース・クローズアップ

・1年を経過したサティヤ・ワチャナ大学の民主化問題

p. 27

・インドネシア政府の反共キャンペーン

p. 28

・東ティモール住民の怒り爆発

p. 30

■ ODA情報

CGI 開催

高柳彰夫 p. 31

■ インフォメーション

p. 32

■ 編集後記

p. 34

【No. 18】1996年1月30日

■ 特集 環境・人権

インドネシア原発計画～本格的に始動？～

p. 2

バロン村の住民の悪夢 報告 エリ・ストウリスナ

p. 3

イリアンジャヤ・ティミカの人権侵害

フリーポート鉱山問題～続報～

都留歴子 p. 7

★ 短編小説 耳

作 セノ・グミラ・アジダルマ

解説・翻訳 松野明久 p. 12

★ 読者投稿

インドネシア随想

杉浦裕一郎 p. 15

★ 第13回 JANNI 連続講座 報告

交流会 イェニさんを迎えて～スハルト政権に果敢に挑む学生生活動家～

p. 17

■ メディア・ウォッチ

抄訳・構成 川上園子・都留歴子・岡本幸江

インドネシア 1995

p. 22

インドネシア・ニュースクリップ

p. 27

■ 本の紹介

『ジャカルタは燃えているか?』(三浦恒紀著) 大槻重之 p. 30

『インドネシアのポピュラー・カルチャー』(松野明久編、めこん)

『インドネシア NGO ディレクトリー データ編』

(編集・発行 日本インドネシア NGO ネットワーク [JANNI]) p. 31

■ お知らせと編集後記 引っ越しました p. 32

【No. 19】1996年4月22日

■ 特集 ビアック島地震 現地報告 p. 2

■ インドネシアのNGO紹介 その1

創造的農民フォーラム (FPK) 岡本幸江 p. 6

★ 緊急レポート

揺れるイリアンジャヤ p. 8

★ 運輸大臣スキャンダル

ポスト・スハルトへ見苦しく露呈し始めた権力抗争 伊達音子 p. 13

★ 土地が奪われる! p. 14

★ 東ティモール人全党派会議、継続で合意 p. 15

■ ニュースクリップ 抄訳・構成 川上園子・岡本幸江 p. 16

■ ニュース・クローズアップ

原発建設をめぐる熱い議論 p. 21

新財団に新資金源 p. 23

ジャカルタからベモが消える日 p. 24

■ 本の紹介

『インドネシア労働レポート』

(D.R. ハリス編、松野明久監訳、日本評論社) p. 25

『破壊 -ニッポン ODA40年のツメ跡-』

(諏訪勝著、青木書店) p. 26

『絵本 森は生命の泉』

(フィリピン・アジア社会学院発行) p. 26

★ ハルク村じゃらん・じゃらん 川上園子 p. 27

★ JANNI 第2回年次総会のお知らせ／編集後記 p. 30

【No. 20】1996年6月29日

- ★ INFID 第10回総会 in オーストラリア
松野明久・加納啓良・都留歴子・古沢希代子 p. 2
- ★ JANNI 第2回通常総会報告 p. 6
- ★ ビントゥニ訪問記 ～マングローブ林伐採とエビ漁～ 村井吉敬 p. 11
- ★ 読者投稿
近代言語としてのインドネシア語 大槻重之 p. 14
- ★ Just Do It ! NIKE ナイキとインドネシア労働者 p. 16
- ニュースクリップ 抄訳・構成 川上園子・山川百合子 p. 17
- ニュース・クローズアップ
バリ島・観光の表と裏 p. 21
- ★ 独立選挙監視委員会 (KIPP) の挑戦
～インドネシア総選挙と民主化運動～ 都留歴子 p. 24
- ★ 大統領夫人の死は王朝の終結となるか? ジュリア・スルヤクスマ p. 25
- ★ インドネシア雑貨仕入旅日記 重永文恵 p. 27
- ★ お知らせ JANNI 第18回連続講座 ゴミから見えるアジアの大都市
交流会 ジャカルタのスラムに生きる人々を迎えて p. 29
- 書籍紹介
Atas Nama Pembangunan: Bank Dunia dan Hak Asasi Manusia di Indonesia
(著者: Abdul Hakim G. Nusantara 発行: ELSAM) p. 30

【No. 21】1996年10月29日

- 特集 7月27日のジャカルタ
「暴動」のボリューム 福家洋介 p. 2
闇にうごめくもの 7月27日事件の真相 伊達音子 p. 3
報道で見る民主党襲撃事件 p. 4
日本のNGOが外務省へ申し入れ p. 8
息をひそめる民主化勢力 都留歴子 p. 10
国家人権委員会は起爆剤となりうるか? p. 11
- ★ ジャカルタ首都圏の出稼ぎ労働者 (その2)
～建設労働者の事例～ 宮本謙介 p. 12
- JANNI 連続講座
第20回 ウォーレスを追いかけて 新妻昭夫 p. 15
アリフ・ブディマン氏来日講演
日本からみたインドネシアの民主化とは? (通訳・松野明久) p. 19

- ★ 「1%基金」の波紋
～地元住民分断を謀るフリーポート社～ JANNI 事務局 p. 25
- ★ Just Do It ! NIKE パート2
～海外NGOによるNIKE視察～ p. 26
- メディア・ウォッチ
ニュースクリップ (抄訳・構成 川上園子/佐伯奈津子) p. 27
ニュース・クローズアップ
インドネシアのラジオ事情 (訳・立花葉子) p. 30
- ★ 南スマトラ・パルプ工場建設問題 関学 p. 33
- ★ ベロ司教、ラモス・ホルタ氏ノーベル平和賞受賞の意義 古沢希代子 p. 35

【No. 22】1997年1月29日

- 特集 カリマンタン
Topic 1 移住政策とカリマンタン ～移住村を訪れて～ 山川百合子 p. 2
Topic 2 政治と泥炭 ～大規模水田プロジェクト～ (訳・山川百合子) p. 4
Topic 3 ブサンの金は誰のものか ～世界有数の金鉱をめぐる闘い～
川上園子/レノ・ギンティン p. 7
- ★ レンバタ島・ラマレラ村の伝統捕鯨 小島曠太郎 p. 9
- ★ インドネシア雑貨仕入旅日記(後編) 重永文恵 p. 11
- ★ 土地の登記で住民の土地権はどうなるのか
～世界銀行のインドネシア土地管理プロジェクト～ 浦野真理子 p. 14
- ★ 橋建設と工業化に揺れるマドゥラ島 都留歴子 p. 15
- メディア・ウォッチ
総集編 1996・インドネシア p. 17
ニュースクリップ (抄訳・構成 川上園子/岡本幸江/佐伯奈津子) p. 19
ニュース・クローズアップ1 頻発する暴動
～シトボンド、タシックマラヤ、サンガウ・レドから～ p. 21
ニュース・クローズアップ2 7月27日事件 その後 p. 23
- ★ フリーポート問題・ティミカ近況報告
～「1%基金」、「ABRI 増強」に直面するアムグメ人～ 都留歴子 p. 24
- ★ パンク、ラスタ、ヘッドバンガー：バリのジェネレーションX
エマ・ボールチ (訳・立花葉子) p. 25
- ★ インドネシアの慰安婦問題、新たな局面 レノ・ギンティン p. 29

■ おススメの一冊

- Y.B. マングンウィジャヤ『香料諸島綺譚』（めこん） 藤林泰 p. 31
 門田修『海が見えるアジア』（めこん） 鈴木隆史 p. 31

【No. 23】1997年5月27日

■ 特集 イリアンジャヤ

- イリアンジャヤの村で自然と共に生きる
 ～慣習法を守り発展させる人々の闘い～ 鈴木隆史 p. 3
 イリアンジャヤ・シンポジウム
 ～資源の自主管理をするイリアンジャヤの海辺から～ 都留歴子 p. 6
 イリアンジャヤのランについて 小塩海平 p. 7
 フリーポート問題続報
 ～ティミカ先住民族の裁判闘争～ 都留歴子 p. 10
- ★ ジャカルタ首都圏のカンポン住民調査 宮本謙介 p. 12

■ 総選挙カウントダウン

- 白い静寂 ～総選挙戦下のジャカルタから～ 三波春香 p. 14
 1997年総選挙：文化的祭典？ アリフ・ブディマン (訳・岡田絵奈) p. 16
 物議をかもしトウトウトとワヒドのデュエット (抄訳・岡田絵奈) p. 18

■ 検証・カリマンタンの2つの事件

- ダヤクとマドゥラ 西カリマンタンの暴動 p. 20
 ブサン大金鉱…は大ウソ？ p. 21

★ 原子力法案可決とハビビ発言 関 学 p. 22

■ メディア・ウォッチ

- ニュースクリップ (抄訳・構成 川上園子／佐伯奈津子／柳沢久美子) p. 23
 ニュース・クローズアップ1 国民車問題、新局面を迎える p. 25
 ニュース・クローズアップ2 コトパンジャン・ダムその後 p. 25
 ニュース・クローズアップ3 ジャカルタ的週末の過ごし方 p. 26

★ 1997年度ジャカルタ俗語辞典 武部洋子 p. 28

★ 南スマトラ旅行記 ～スマトラ・パルプ工場建設問題～ 佐々木園子 p. 30

【No. 24】1997年9月27日

■ 特集 スマトラ

- 見せかけの伝統
 (Inside Indonesia No. 49 の記事) (訳・川上園子) p. 2
 バガンシアピアピにおける張網漁業の実態 北窓時男 p. 5

インドネシア・ニュースレター 99 & 100

アチェ鎮圧の忘れられた代償	ケリー・ブローガン (訳・立花葉子)	p. 8
北スマトラ・クリスマス思い出		
～バタックのふるさとを訪ねて～	有賀愛子	p. 10
スマトラ・開発と環境と人々 Update Information		p. 12
★ 総選挙終わる	レノ・ギンティン	p. 14
★ イギリス・ブレア政権と人権外交 ～インドネシアの場合～		p. 16
★ CGI Watch		p. 17
■ メディア・ウォッチ		
ニュースクリップ		
(抄訳・構成 川上園子／山川百合子／奈良ナナ／木村浩子)		p. 18
ニュース・クローズアップ 1		
ファーストフード産業とハンバーガーの価格戦争		p. 21
ニュース・クローズアップ 2		
マンデラ南ア大統領ジャカルタ訪問と東ティモール問題		p. 22
ニュース・クローズアップ 3		
30%・消えた世界銀行の融資		p. 23
★ ティミカ 再び緊張高まる フリーポート問題		p. 24
■ JANNI 第 24 回連続講座 (7 月 17 日)		
インドネシアの「慰安婦」問題	岡本幸江	p. 25
スマラン慰安所事件	内海愛子	p. 27
■ 本の紹介		
『クジラと少年の海』(小島曠太郎・著 江上幹幸・写真 理論社)		p. 30
ブックレット『30 年目のスハルト インドネシア民主化のうねり』		
(日本インドネシア NGO ネットワーク編)		p. 30
★ ボランティアさん紹介 浅見綾乃さん		p. 31

【No. 25】1997 年 12 月 8 日

■ 特集 1 天災か人災か いまインドネシアで何が起きているのか		
インドネシアを覆う森林火災	川上園子	p. 2
オイルパームと中核農園システム	レノ・ギンティン	p. 4
オイルパーム・ネポティズム	ジョージ・J・アディチョンドロ	
(訳 立花葉子／佐々木園子)		p. 6
西カリマンタンの煙害対策 NGO ステーション (POS JSM UPBA)		p. 7
★ イリアンジャヤの干ばつと飢餓	都留歴子	p. 8
農作物の被害状況に関するショートレポート	小塩海平	p. 11

★ ウシの道とマカッサル人	福家洋介	p. 12
★ 「森の民」ダヤクを訪ねて	奥秋聡	p. 13
★ ナシロ事件が問いかけるもの	佐伯奈津子	p. 15
■ インドネシア民主化におけるメディアの役割 (JANNI 連続講座第 26 回) グナワン・モハマッド (監訳・岡本幸江)		p. 16
■ メディア・ウォッチ ニュースクリップ (抄訳・構成 浅見綾乃/岡本幸江/川上園子/鹿野毅/ 谷合由紀/奈良ナナ/昼間紀子/山川百合子)		p. 21
ニュース・クローズアップ 1 1998 年大統領選に向けて		
ニュース・クローズアップ 2 エビ養殖農家 公害との戦いに負ける		p. 24
ニュース・クローズアップ 3 ポスト・スハルトをめぐって諜報機関がスハルト批判者らに インタビュー		p. 24
ニュース・クローズアップ 4 IMF パッケージと情報公開 国会生中継の禁止		p. 25
★ インドネシアの華人文学	押川典昭	p. 26
■ 特集 2 インドネシアの経済危機 通貨・金融不安と国際協調支援	加納啓良	p. 28
IMF パッケージと社会不安		p. 30